

## 第1回 あいち多文化共生タウンミーティング 2022 開催結果報告書

### 開催概要

テーマ「外国人県民の高齢化を考える」

現在、外国人県民も日本人県民と同じように、高齢化を迎えています。外国人高齢者が直面する現状や課題について、話し合いました。

日時:2022年6月19日(日)14:00~16:30

場所:豊橋市民センター 大会議室

### 当日の流れ

#### 1 事例報告

- ①外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト 代表 木下 貴雄 氏
- ②愛知県高齢者生活協同組合ケアセンターほみ 所長 上江洲 恵子 氏

#### 2 ワークショップ

### 1 事例報告

外国人高齢者への支援に取り組む2団体に、取組内容や課題等についてご報告いただきました。

#### ①外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト

代表 木下 貴雄 氏

木下さんは、中国出身で、父親の介護を経験し、外国人高齢者の現状や課題について周知・改善するため、2014年「外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト」を設立しました。団体は、中国語の介護通訳の育成・派遣事業に取り組むほか、2020年度には愛知県の委託を受け、県内の外国人高齢者の実態調査を実施。介護保険制度の多言語パンフレットの作成等、「外国人と介護制度をつなぐ」ことを目指して活動しています。





## ②愛知県高齢者生活協同組合ケアセンターほみ

所長 上江洲 恵子 氏

上江洲さんはペルー出身で、愛知県高齢者生活協同組合が2009年に開講した、介護講座を受講したことがきっかけで現在の職場に就職されました。

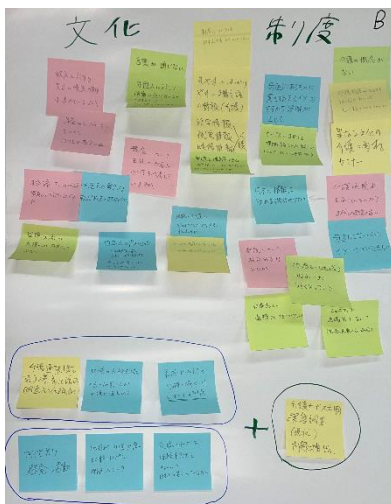
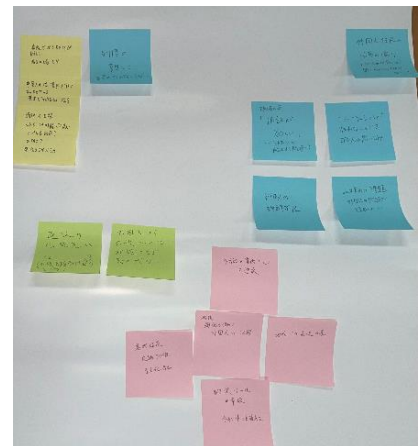
同組合のケアセンターほみは豊田市保見ヶ丘に住む外国人の高齢化を背景として、2011年に開所。以降、地域の外国人高齢者の訪問・居宅支援や障がい児デイサービス等の事業を展開。国籍に関わらず、地域住民に寄り添いながら、高齢化の課題解決に取り組んでいます。

## 2 ワークショップ

ワークショップでは、2グループに分かれ、外国人県民の高齢化に関する課題と対応策について以下のようなテーマで意見交換を行いました。ワークショップの最後には、グループごとに発表を行い、県が取り組むべき施策等について、様々なアイデアを出していただきました。

### A グループ:言葉の壁・コミュニケーションの問題について

- ・既存の多言語の案内ツールの情報提供や啓発
- ・翻訳ツールを常設できるような支援
- ・人で不足に悩む事業所が介護現場で働きたいと思っている外国人を雇用できるような仕組みづくり
- ・外国人介護人材養成講座の定期開催
- ・地域での交流の場づくり



### B グループ:制度の理解不足と文化等の違いについて

- ・介護通訳の養成と活用のしくみ化
- ・介護と通訳の両者に精通した地域の人材発掘
- ・養成した人材の活躍の場づくりのためのマッチング制度
- ・他国の介護制度と比較を行い、情報交換をしながら日本の介護制度について知ってもらう場をつくる
- ・世代別に啓発活動を行う
- ・若い世代も含めた交流の場での社会保険制度の説明
- ・介護サービス利用の実態調査による現状や問題の抽出

## 1 このタウンミーティングを何で知りましたか。

チラシ	3
県のホームページ	0
知人からの紹介	2
その他	3
無回答	0

【その他】職場への電話、県からのメール、行政からの勧め

## 2 事例報告はいかがでしたか。感想をお聞かせください。(一つ選択)

とてもよかった	5
よかった	3
ふつう	0
よくなかった	0
全くよくなかった	0
無回答	0

感想の理由をお聞かせください。

- ・外国人高齢者人口が増えていくことを知った。高齢者のケアについてのことが勉強になった。
- ・保見団地の現状やセンターについて知りたかったので、聞いてよかった。
- ・介護通訳という存在を知らなかったが、その重要性を認識することができた。質疑応答もとても良かった。外国人高齢者を通訳でつないでも、つないだ先に通訳がいないと・・というのは非常に良い問題提起だった。
- ・中国から帰国された方の現在の状況についてあまり知らなかったので、お聞きできて良かった。保見団地の取り組みも素晴らしいと思った。
- ・実際のケースがとても参考になった。
- ・高齢になってから、外国人住民が抱える課題やそれに対して地域がどのように対応していくべきか検討する良い事例が多く、とても勉強になった。
- ・実践と課題が当事者のリアルな問題として理解出来た。関連事業所への啓蒙活動を今後も是非進めてもらいたい。

3 後半のワークショップはいかがでしたか。感想をお聞かせください。(一つ選択)

とてもよかった	6
よかった	1
ふつう	0
よくなかった	0
全くよくなかった	0
無回答	1

感想の理由をお聞かせください。(複数選択可)

楽しかった	7
つまらなかった	0
活動を進める上での参考になった	5
新しい内容を聴くことができた	4
聞いた事がある話ばかりだった	0
多文化共生社会づくりに興味がわいた	1
人脈を広げることができた	2
多文化共生社会づくりのヒントを見つけることができた	5
その他	1

【その他】異なる立場で同じ課題に取り組む人の意見が聞けてとても勉強になった。

4 本日の内容や、愛知県の今後の施策等について、何か御意見があれば教えてください。

- ・実態調査は行政で行った方が、より正確なデータが収集できると思うので、是非やって頂きたい。
- ・多言語パンフレットは活用が難しかった。(利用者はもっと詳しい内容を知りたい)ただ、介護保険制度を知るきっかけづくりとして、非常に意義のあるものと思った。
- ・木下さんが紹介された、外国人と介護制度をつなぐための3つの試みは、その根底にある考え方も含め、極めて重要で意義のあるものだと感じた。
- ・介護保険分野においては、介護人材不足をはじめ、課題が山積み。残念ながら、外国人高齢者の課題は優先順位があまり高くなく、後回しになっているのが現状。行政の動き(自治体の介護担当)を待っているのはなかなか物事が動かないため、アプローチに工夫が必要と感じる。
- ・通訳、人材育成、介護職等の政策を考えて欲しい。